11/29(木)冬の避難訓練を行いました

11月も終わりに近づき，いよいよ冬本番となってきました。これからの季節は，雪が積もって道路が歩きづらくなったり，屋根から急に雪が落ちてきたりなど，夏にはなかった危険が生活の中にひそんでいます。そんな時にこそ落ち着いて，対応できる力が必要になってきます。

今回の避難訓練では，学校生活における「冬期避難方法」について学習しました。ランチルームから出火したという想定で，中央階段を通って校庭へ避難しました。全校が一カ所の階段を使用するということで，混雑することが予想されました。しかし，一人一人が「自分の命を守ること」「友だちの命を守ること」，そして，「おさない」「はしらない」「しゃべらない」「もどらない」を意識して，スムーズに校庭へ移動することができました。

4～6年生の代表児童による消火訓練も行われました。校舎内にも設置してある消火器の大切さを，改めて見直す機会であるとともに，いざという時の使用方法について学ぶ機会でもありました。訓練をじっと見つめる姿から，今後にいかせる大切な学びであったことが伝わってきました。

有名な言葉で，『天災は忘れたころにやってくる』というものがあります。

『いつやってくるのか？』『どこにやってくるのか？』もわからない地震や火事に対応できる心と力を，今後もしっかりと身につけるようにしましょう！